



このホテルは教えてくれる、みんなが願う働き方は、みんなが願う社会は、夢じゃないことを。

●あらすじ

名古屋駅前の老舗ホテルは、4期連続の赤字にあえいでいた。新たな総支配人に選ばれた柴田秋雄氏は、柴田流の再建策に乗り出す。それは、リストラでも、成果主義導入でもなかった。従業員が参加して、経営理念をつくり、みんなで合宿して夜を徹して夢を語り合い……。そう、夢は「日本一幸せな従業員をつくる」こと。従業員のお誕生日会、従業員食堂のリニューアル、続々はじまる試み。このホテルは教えてくれる。誰もが幸せに働ける、誰もがともに幸せに生きられる。それは夢じゃないことを。名古屋の小さなホテルに起きた真実の物語。

映画の感想

★「こんなに泣くと思わなかった。夢は夢で無く現実でした。思いが伝われば皆、家族になれるんだね。たくさんの方に観ていただきたい。ぜひ、ハンカチのご用意を(#^_^#)。あたたかい気持ちに、涙(T_T)」

★「ぜひご覧ください。絶対、後悔しないと思いますよ(#^_^#)。どこか1つ、やさしかったら、ドミノみたいにやさしさが伝染していくの(#^_^#)。そういう風に、世界中がなれば良いのになって。お金とかじゃなく気持ちだからなくなる」

★「めっちゃめっちゃ感動な素晴らしい映画でした。何度も泣きながら、見させていただきました。こういう会社で働きたいな。ってほんま思いました」

★「ホンモノの愛は、人を変化させ、輝かせる！その人が持つチカラのMAXが外れる。小さな関わりが、太い絆で結ばれて、伝播して、世界平和にもつながる～と思えた映画でした」